

おかだりよくすいかいかつどうそしき

岡田緑水会活動組織（松本市）

・組織の活動面積 A= 98.42 ha

・組織の構成員数 約 352 人

組織形態

農地維持 ■

資源向上(共同) □

資源向上
(長寿命化) ■

取組開始年度

平成26年～

—

平成28年～

構成員

岡田全地区該当農家、女鳥羽土地改良区、松本ハイランド農協女鳥羽支所

組織の概要

私たちの活動地域は、松本市の北方に位置する岡田全地区です。本地区は松本市の東山部に属し、文化財の発掘が古い歴史を物語っていますが、「昔から岡田豊年米食わず」と言われてきたように、水不足常習干ばつ地帯として有名であり、先人たちは汗と涙で用水を求め努力してまいりました。田溝池を始め10ヶ所あまりのため池を構築し、水不足を克服し過酷な自然条件の中で、営みを今日まで受け継いで参りました。昭和の初期から30年代は蚕産業が主力で、畑は殆どが桑畑でした。近年市街化が進む中で、特に岡田は立地条件が良いため、新興住宅が増え、農地が年々減ってしまいました。今回、国の補助事業として農地維持支払の話聞き、岡田の緑と水を守ろうということで「岡田緑水会活動組織」と名付け、遊休荒廃農地の歯止めを少しでもしようということで、この組織を立ち上げました。

岡田の緑と水を守ろう

田溝池は、岡田の中で10ヶ所所有るため池の内一番大きな池で、女鳥羽川の水を田溝池に導水するために六助池に導水し、その水を田溝池に揚水されている。伊深から六助池まで1,373m、六助池から田溝池まで825m、六助池から水中ポンプで自動的に揚水することとなり、改修新設揚水施設が平成8年県営事業として完成し後世に残された。右の写真は、満面に水を張っている田溝池の姿です。



岡田土地改良区水利委員27名の皆さんで、5月、7月、9月の年3回田溝池を筆頭に溜め池の水路の清掃、草刈の作業を全員で行っている。山の上の池が多い為、土手が長く傾斜がきつい大変な作業です。作業終了後、水神様に岡田の豊作と安全を祈願します。左の写真は水神様に参拝をしている風景です。

就農者の高齢化に伴い、農作業が出来ない農家が年々増加して来たため、平成17年松本ハイランド農協岡田支所の提案により、農業サポート組合を発足しました。組合員16名で、草刈、ライスセンター、野菜苗の定植、出荷等お助け隊として貢献しています。平成23年からは、稲の苗管理をやる人が居ないので育苗センターで芽出しをした苗を、2週間ほど管理し生産者に引き渡しています。今では、組合員も高齢化してしまい、12名に減っている中で、岡田地区の農業現状維持に大きく貢献しています。

右の写真は、組合員の一部の皆さんです。

